

KAS

風の谷

びゅう
VIEW

社会福祉法人 風の谷

相模原市田名7236-3

発行責任者 政野 光廣

042-760-1033

<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>

e-mail: ykoubou@pastel.ocn.ne.jp

地域交流バザー特集号



閉ざしている

のでは

なくて



見知らぬことが怖くて

不確定なのものが不安で

でもそれは特別なことなのだろうか

私たちの施設はどこまで地域に

根付いているだろうか

交流の思いはいつも胸に馳せ

開かれた施設であるために



笑顔を創り続けます

【2006年 夏号】

巻頭文	P 2	支援センター	P 3
特集：地域交流バザー	P 4・P 5	痛いということ・グループホーム新人職員紹介	P 6
決算報告	P 7	後援会のページ	P 8

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会 代表者 柳場秀雄 〒228 0806 相模原市栄町6 14

毎月15日発行 購読料1部 50円

障害者自立支援法が施行されて～受け容れ難い制度

本年4月より『障害者自立支援法』が施行されました。本施行は10月からとはいえ、利用者の方には原則1割の『定率負担(応益負担!)]』が始まり、私たち施設サービス事業者の報酬も、それまでの『月額制』から『日額制』へと大きく変わりました。施行後の実感として、受け容れ難い制度であるとの思いを今更ながら深めております。

昨年11月25日発行の『風の谷VIEW』に寄稿した拙文(障害者自立支援法が成立して～支援費制度の終焉)の中で、「所得保障を前提とせず、使ったサービス量に応じて負担を求める新制度が、今後どのような結果を障害者の方たちの生活にもたらすのか」との懸念を述べさせていただきましたが、ついにそれが現実のものとなり、さまざまな形で表出され始めています。例えば、定率負担が課せられることを理由に、施設を退所したり通所や食事の回数を減らしたり、居宅サービスの利用を中止した人が出ているとの情報が全国各地からもたらされてきていますし、また、障害者自立支援法の施行に伴う負担への不安や前途を悲観しての無理心中等、悲惨な事例も報道等により幾例ももたらされています。去る6月19日に開かれた全国知的障害関係施設長会議において、悲惨な事例が各地で相次いでいることの責任を問われた厚労省の藤木障害福祉課長は、「障害者自立支援法には負担増のイメージが先行しており、さまざまな軽減措置や減免措置等があることがあまり知られていない。説明不足が大きな要因である。」と、十分説明することで理解と賛同を得られるとの認識を示しましたが、果たしてそうでしょうか。私は、むしろ説明すればするほど制度の矛盾や理不尽さに気付き、異を唱える人が多くなるのではないかと思います。

そもそも、財政的に破綻した支援費制度に替わる制度として登場した障害者自立支援法は、障害福祉の財政問題を先行させた議論のもとで作られたものであり、介護保険との統合を前提とした制度設計になっています。そしてこのことが、まさに、多くの矛盾や問題点を噴出させている「諸悪の根源」であるように思われます。中でも大きな矛盾と思われるのは、介護保険との統合へ向けて整合性を優先させ、拙速かつ強引に制度移行を進めた結果、所得保障が十分されていない障害者に定率負担を含めて大幅な負担増を強いることになった点です。また、障害程度区分認定の問題も見過ごすことはできません。介護保険認定項目の79項目を一次判定(95項目)に優先適用させているために、身体障害に比して知的障害や自閉症など固有の障害特性や生活上の困難さが判定結果に反映され難いとの問題があります。

支援者の立場であるやまびこ工房、グループホームナウシカは4月からの日額報酬制により、まさに驚愕するほどの報酬減に見舞われています。必要なのは時間単位のコマ切れな『介護』ではありません。関係性を大切にした継続的な『支援』こそが必要なのです。障害者の地域での自立を支援することこそ制度の目的であった筈が、障害者本人やその家族、支援者等を不安に陥れ、自立を阻害するようなことになってはなりません。『障害者自立支援法』という新しい制度名をブラックジョーク(悪い冗談)に終わらせないためにも、制度の抜本的な見直しを求める取り組みを強固に進める必要があると思います。

皆様のさらなるご支援ご協力をお願いいたします。

施設長 中島博幸

自閉症支援センターだより

6/24,25日に北海道札幌市で行なわれた第41回発達障害学会で、相模原自閉症支援センターでの取り組みについて発表してきました。やまびこ工房として発達障害学会に参加をするようになってから、今回で6年目になります。当時やまびこ工房のスーパーバイズをお願いしていた梅永雄二先生から、10年続けることが出来たら本物になるといわれ頑張ってきました。現在は渡部匡隆先生に力を貸していただきながら、何とか今回の学会発表を終える事ができましたのでそのご報告もかねて、この場でご紹介させていただこうと思います。

今回は「自閉症児者の充実した地域生活を目指しての支援」と言う題のポスター発表でした。相模原自閉症支援センターのサービスの核である居宅介護事業、その中でも行動援護に焦点をあてた発表をしてきました。行動援護の特徴としては“予防的対応：行動上の困難の引き金となるような刺激を回避する支援。制御的対応：本人と周囲の安全を脅かす等の行動を適切に終結させる支援。身体介護的対応：外出時の食事介助や、外出前後の身支度等の支援。”等が挙げられています。その中で一番の特徴といえるのは、身体介護的対応が出来るようになったことです。ですから、行動援護では外出の計画書や報告書を作成したり行き先の変更を伝えたりするのを、自宅内で直接ヘルパーが行うことが可能になりました。そのほかにも、起床や排泄の支援をヘルパーが行うことで、卒業式に参加できた事例等の報告もしてきました。合わせて、積算単価が他サービスよりも割高のため、利用者負担も多くなることや、判定表の問題についても課題として発表してきました。現在の判定表では、どんなに生活上の困難さがあっても、単一のものであると行動援護の対象とはならずサービスは受けられないこととなります。さらに、困難さの程度ではなく頻度で判断されるため、頻度が少なかった場合、その行動障害に対しての支援は行動援護上必要がないと判断されてしまうこと等の問題点についても発表してきました。

行動援護については現在も地域間格差が大きく、そのことについても若干ポスター内で発表したのですが、参加者の反応からもそのことがうかがえました。多くの人の質問は行動援護とは？ガイヘルとの違いは？対象は？といったもので、実際の内容についての情報交換は残念ながらほとんど出来ませんでした。このことから、今後、移動支援（地域生活支援事業：市町村事業）と行動援護（介護給付）に分かれたときにはさらに地域間格差が大きくなるのが心配になりました。今後も行動援護を使うことで自閉症児者の地域生活を支えていることを伝えていかなければならないし、行動援護の特徴にも挙げた、“予防的対応や制御的対応”は自閉症児者の対応としては基本中の基本であることから、実際のヘルパーの支援技術としては外出介護との違いはあまりないことも伝えていかなければと考えています。

あっという間の一泊二日で北海道を満喫！とまでは行きませんでした。全国各地で頑張っている施設の発表や、学校の先生や研究機関等の最新情報まで聞けて充実した2日間でした。さらに気持ちの良い大自然北海道の風をうけて、大きな力を貰ったような気がします。区切りの10年連続参加まであと4回、利用者みんなの幸せのためにも発表を続けて行きたいと思います。10月の障害者自立支援法の本格施行に向けて、さらに強力な逆風が吹いてくるでしょう。そんな風にも負けずに、今後も皆で力をつけて頑張っていこうと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。最後になりましたが、このような発表の機会を設けてくださったことをここに感謝いたします。本当にありがとうございました。

支援センター 西村

やまびこ工房 地域交流バザーに行ってきました

今年は残念ながら、雨天の中でのスタート。出足が遅れ、自主製作品の売り上げも心配されましたが、はりきって参加してくれたボランティアさんやお母さんたちの笑顔に誘われるように、・・・例年以上の賑わいになりました。近所の小学校や地域の人たち、幅広い年齢層の人たちと触れ合うことができ、暖かな雰囲気の中で最後には天気も晴れてきて、大成功のうちに終えることができました。

いらっしやい！
焼きたてだよ！



やきそば大盛り、おま
けしておくわよ～！！

カブトムシ
買ってー！



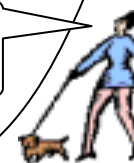
あっ もう始まっているよ～！



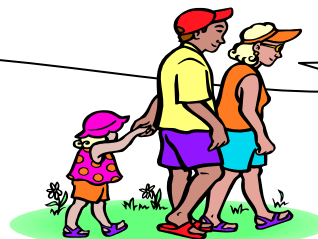
おばちゃん、田楽下さ～い！



プラムちゃん、お花を買っ
たら、帰りましょうね。



ちょっと一休みして、
マンドリンの演奏を
聴きましょう！



コーヒー入れたてよ！



たくさんの手作り品のご協力も頂きました。



八王子マンドリンプリムローズの皆様、今年
も素敵な演奏をありがとうございました！



また来年も来てね！

【痛いということ...】

2月16日 Aさんの連絡帳母より

今朝の体温が7 3 。動きが鈍い。7:40の体温が7 1 。本人が「行く」と言っている
ので、行かせます。熱が上がるようなら連絡を下さい。朝食はごはんを2口くらいで残しま
した。卵1コ、ヨーグルト、リンゴ1/4、牛乳は完食。

2月16日 職員からの連絡帳抜粋

風邪長引かないとよいです。中略 11:30をすぎた頃から机にうつぶせてしまうようになっ
たので昼食前に熱を計りました(37 5)咳はしてないし、動きに変化はそれ程みられま
せんが、表情はダルそうです。

Aさんは熱が上がったため昼食後、帰宅した。

4月3日 Aさんの連絡帳母より

やっと工房に通えるようになりました。よろしくお願いします。

Aさんは帰ってきた、『人工肛門』になって。盲腸が極度に悪化し、大腸、直腸も傷つい
てしまったため、人工肛門を使うことになった。1年後には再手術をし、人工肛門は取り外
す予定である。2月16日の時点ではまさかそんな大病を患っているとは思もしなかったの
である。Aさんは「お腹が痛い」とは言っていたのだが、その痛みの強さを訴えることはで
きない。かかりつけの医者は虫垂炎ではないと主張していたのである。2週間経っても原因
も特定できずにいて、一向に良くならないため、別の病院に行ったところ、緊急手術となり、
人工肛門をつけることになった。執刀した医師は慢性の虫垂炎だと主張している。そうだと
するといつから痛かったのだろうか。その痛みを思うと辛い。かなり長い間「なおった」と
いう言葉を執拗に言っていた。その機能がわからずにいたが、もしかしたらこの痛みに発し
た言葉だったのかもしれない。うずくまるようなこともあったし、深く息するときもあった。
あれは痛みを耐えていたのかもしれない。

Aさんは工房に通っている。その姿は一見、普通に見える。果たしてAさんはなおったの
だろうか？痛みはないのだろうか？本当に虫垂炎だったのだろうか？自分達に何ができた
のか、これからどうして行くべきか、真摯に向かい合って行きたい。(薬師丸和浩)

グループホーム新人職員紹介

2月よりグループホームの嘱託職員として働かせたいただく事になりました、村田純彦
(25歳)です。非常勤の時とはまた違った目線でグループホームの在り方、価値について
しっかり考えていこうと思います。利用者一人一人が住みやすい環境
(空間)作り、また成長していく過程をサポートしていけたらと思っ
ています。まだまだ勉強不足な部分は多々ありますが、一つ一つ丁寧
に妥協する事なく頑張りますのでよろしくお願いします。



社会福祉法人風の谷 2005 年度決算報告

【貸借対照表】

2006.03.31 現在 (単位円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末		当年度末	前年度末
流動資産	94,360,049	99,877,611	流動負債	12,123,271	35,882,471
固定資産	359,677,144	376,622,178	固定負債	127,194,000	137,880,000
その他の固定資産	70,722,023	73,840,707	負債の部合計	139,317,310	173,762,471
			純 資 産 の 部		
			基本金	55,912,098	55,912,098
			国庫補助金等特別積立金	123,715,029	133,243,347
			その他の積立金	45,600,000	45,600,000
			次期繰越活動収支差額	89,492,756	67,981,873
			純財産の部合計	314,719,883	302,737,318
資産の部合計	454,037,193	476,499,789	負債及び純財産の部合計	454,037,193	476,499,789

【資金収支計算書】

【事業活動収支計算書】 2005.04.01 ~ 2006.03.31 (単位円)

	勘定科目	予算	決算	差異
経常活動による収支	収入			
	利用料収入	104,603,000	105,281,110	678,110
	経常経費補助金収入	13,149,000	12,747,854	-401,146
	寄附金収入	5,030,000	5,400,000	370,000
	雑収入	3,280,000	3,319,624	39,624
	借入金利息補助金収入	2,968,000	2,968,680	680
	受取利息配当金収入	5,000	3,813	-1,187
	会計単位間繰入金収入	0	0	0
	経理区分間繰入金収入	150,000	150,000	0
	経常収入計	129,185,000	129,871,081	686,081
支出				
人件費支出	80,434,000	78,926,108	-1,507,892	
事務費支出	20,389,000	20,608,246	219,246	
事業費支出	9,243,000	8,773,364	-469,636	
借入金利息支出	2,968,000	2,968,680	11,762	
会計単位間繰入金支出	0	0	0	
経理区分間繰入金支出	150,000	150,000	0	
経常支出計	113,184,000	111,426,398	-1,757,602	
経常活動資金収支差額 = -	16,001,000	18,444,683	2,443,683	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	0	0	0
	施設整備等寄附金収入	520,000	400,000	-120,000
	固定資産売却収入	0	0	0
支出				
施設整備等収入計	520,000	400,000	-120,000	
固定資産取得支出	608,000	603,084	-4,916	
元入金支出	0	0	0	
施設整備等支出計	608,000	603,084	-4,916	
施設整備等資金収支差額 = -	-88,000	-203,084	-115,084	
財務活動による収支	収入			
	借入金収入	0	0	0
	投資有価証券売却収入	0	0	0
	借入金償還補助金収入	10,380,000	10,380,000	0
	積立預金取崩収入	0	0	0
	その他の収入	0	0	0
	財務収入計	10,380,000	10,380,000	0
	支出			
	借入金元金償還金支出	10,380,000	10,380,000	0
	投資有価証券取得支出	0	0	0
積立預金積立支出	0	0	0	
その他の支出	0	0	0	
流動資産評価減等による資金減少額等	0	0	0	
財務支出計	10,380,000	10,380,000	0	
財務活動資金収支差額 = -	0	0	0	
予備費	3,702,000	0	-3,702,000	
当期資金収支差額合計 = + + -	12,211,000	18,241,599	6,030,599	
前期末払資金残高	29,656,087	63,995,140	34,339,053	
当期末払資金残高 +	41,867,087	82,236,739	40,369,652	

	勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
事業活動の部	収入			
	利用料収入	105,281,110	108,543,250	-3,262,140
	経常経費補助金収入	12,747,854	13,237,531	-489,677
	寄附金収入	5,400,000	6,015,000	-615,000
	雑収入	3,319,624	3,796,735	-477,111
	借入金元金償還補助金収入	10,380,000	10,380,000	0
	引当金戻入	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	9,528,320	9,660,753	-132,433
	事業活動収入計	146,656,908	151,633,269	-4,976,361
	支出			
人件費支出	78,926,108	73,611,607	5,314,501	
事務費支出	20,000,746	19,765,412	235,334	
事業費支出	8,773,364	9,230,738	-457,374	
減価償却費	17,220,243	17,129,415	90,828	
徴収不能額	0	0	0	
引当金繰入	607,500	570,000	37,500	
事業活動支出計	125,527,961	120,307,172	5,220,789	
事業活動収支差額 = -	21,128,947	31,326,097	-10,197,150	
事業活動外収支の部	収入			
	借入金利息補助金収入	2,968,680	3,197,040	-228,360
	受取利息配当金収入	3,813	4,057	-244
	会計単位間繰入金収入	0	0	0
	経理区分間繰入金収入	150,000	7,886,546	-7,736,546
	投資有価証券売却収入	0	0	0
	有価証券売却収入	0	0	0
	事業活動外収入計	3,122,493	11,087,643	-7,965,150
	支出			
	借入金利息支出	2,968,680	3,217,238	-248,558
会計単位間繰入金支出	0	0	0	
経理区分間繰入金支出	150,000	7,886,546	-7,736,546	
投資有価証券売却原価	0	0	0	
有価証券売却原価	0	0	0	
雑損失	0	0	0	
事業活動外支出計	3,118,680	11,103,784	-7,985,104	
事業活動外収支差額 = -	3,813	-16,141	19,954	
経常収支差額 = +	21,132,760	31,309,956	-10,177,196	
特別収支の部	収入			
	施設整備等補助金収入	0	0	0
	施設整備等寄附金収入	400,000	259,685	140,315
	固定資産売却収入	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0
	特別収入計	400,000	259,685	140,315
	支出			
	基本金組入額	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0
特別支出計	0	0	0	
特別収支差額 = -	400,000	259,685	140,315	
当期活動収支差額 = +	21,532,760	31,569,641	-10,036,881	
繰越活動収支差額	67,959,996	58,412,232	9,547,764	
当期末繰越活動収支差額 = +	89,492,756	89,981,873	-489,117	
基本金取崩額	0	0	0	
基本金組入額	0	0	0	
その他の積立金取崩額	0	0	0	
その他の積立金積立額	0	22,000,000	-22,000,000	
次期繰越活動収支差額 = + -	89,492,756	67,981,873	21,510,883	
+ -				

社会福祉法人風の谷の2005年度決算報告は上記の通りです。
2006年3月31日現在の資産総額は、314,719,883円であることを証明致します。

2006年5月24日 監事 彦坂健一郎 印
監事 関水実 印

風の谷後援会 2005 年度決算報告

2005.04.01 ~ 2006.03.31 (単位円)

収 入			支 出		
項 目	金 額	備 考	項 目	金 額	備 考
会費収入	698,000	個人・団体	法人寄付金	5,000,000	
事業収入	549,145	チャリティ公演、バザー等	事業支出	256,877	
寄付金	5,505,000	個人・団体、募金他	事務費	29,632	通信費他
雑収入	67,654	資源回収奨励金他	雑費	29,930	活動、渉外費等
前期繰越金	5,140,363		次期繰越金	6,643,723	
合 計	11,960,162		合 計	11,960,162	

風の谷後援会の2005年度決算について上記の通り報告致します。 会 計 山口 世津子 印

会 計 藤野 一枝 印

監査の結果、上記の通り相違ありません。 会計監査 百田 喜代子 印

会計監査 清水 恵美子 印

後援会のページ

【ご挨拶】

うっとうしい梅雨の季節と相成りました。今年は5月に数日太陽を見ただけでした。それに引き続いての梅雨に入りと成り、益々うっとうしく感じられる今日この頃です。しかしながら、いっせいに花を開いた紫陽花、多色多形な花を咲かせ皆様の心を癒してくれる事ではないでしょうか。

さて、5月28日に開催されたチャリティーバザーでは、一方ならぬお世話に成り、ありがとうございました。開催時間前までの雨が店開きを行ったと同時に、太陽も応援するかの様に顔を出してくれました。皆様が一生懸命に頑張る姿を見て、雨雲さんを飛ばして応援していたので、う。売り上げも予想以上だと聞いております。ご苦労様でした。



次回の後援会行事ですが、相模原納涼花火大会見学に向けて、役員一同頑張っております。昨年より増してのご参加をお待ちしております。7月30日(日)の夜に実施致します。詳しくは後日の役員会で決定して皆様にお知らせ致します。特に、お父さん方、又、兄弟姉妹の方など大いに歓迎致します。

今後とも後援会活動にご協力を宜しくお願い致します。(後援会会長 中塚 清)



平成18年度 風の谷後援会新規・更新者、協力者紹介 (H18.1.11 ~ H18.5.28 順不同敬称略)

【更新・個人】

(相模原市内)

井上進、今関陽子、大久保敬二、小原政美、鏡京子、柏木忠雄、川合義正、川島和章、小林義明、小針徳枝、小松克明、斉藤敦仁、高橋ユキ江、谷口博恵、豊田幸男、永山明彦、西田明美、芳賀道子、萩原シメ、林玲子、原徹、藤田四郎、堀田脩司、政野光廣、松原麻子、三田二三夫、宮田勇、森合貞雄、山崎テル代

(その他地域)

河崎陽子(伊勢原市)、田中ヒロ子(海老名市)、村上信治(大阪市)、酒井艶子(川崎市)、中屋敷剛(川崎市)、永田敏弘(高座郡)、佐々木継生(北九州市)、鎌田茂雄(札幌市)、上城洋一(座間市)、和田真理子(静岡市)、辺見貴江子(仙台市)、増田美智子(立川市)、神谷正裕(茅ヶ崎市)、政野大(茅ヶ崎市)、成瀬富子(平塚市)、上城敏明(町田市)、竹花三枝(町田市)、矢口初子(町田市)、山本昭子(町田市)、農澤雄治(横浜市)

【更新・団体】

伸和トラスト(相模原市)、ワーカーズコープ・キュービック(横浜市)

【ご寄付・ご協力】

伸和トラスト、新宿小学校、新宿自治会、三菱さがみ共済会、相模原ボランティア協議会、相模原市社会福祉協議会、ワーカーズコープ・キュービック、ボランティアサークルきずな、県立弥栄高校生有志、依知の会、木下昭二、中塚会長友人、木下英夫、木下謙三、清水徹、他大勢の皆様

風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的にしております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円/年間 団体会員 一口：10,000円

一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

お問い合わせ先

〒229-1124 『風の谷後援会』事務局
相模原市田名7236-3 社会福祉法人 風の谷 内 TEL:042-760-1033 FAX:042-760-7115
郵便振込先 口座番号 00230-1-15345